

第560号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2015年11月16日
発行責任者 喬木村公民館長 原 美穂
編集責任者 公民館編集部 仲田 久志
印刷 龍共印刷株式会社



伊久間 縄文の丘フルーツパークの菊の花

文化財 再発見 シーズ 22

「コト八日行事」その③

喬木村の「事念仏」と「コトの神送り」

私の住む大和知地区では、事送りと言う行事が行われています。
毎年旧暦二月八日に、宿番六戸の人達が集まって準備をします。藁を束ねて作った輪に神官に作っていたいた幣束を四本立て、竹の棒を二本通しオカグラを作ります。

大和知在住 横前 かねを

これを二人で担ぎ、その後を送り竹を持った地区の人達が続きます。道中では小太鼓と鉦(チンチン)を叩きながら途中に出されている送り竹を集めながら、大岩と、くろやき地籍へ一年毎に交替で送り出しています。
送り竹には赤・緑・青・白

等の色紙を張りつないで作った旗に「奉送御事(大神)」と墨書し、下の所に家族の人数分だけ「馬」の字を書き、家族のボンノクボの毛髪と米を包んだオヒネリを作り笹竹に結びつけます。
この送り竹で「風邪の神様」を出て行く「おくんなんよ」と云いながら、家の中を破つてから集会所へ持っていか、行列の通る道筋へ出しておきます。これを「馬に乗せて送る」と云います。
近年では送り竹の作り方や、家の中のお祓い等少しづつ変わってきている様です。以前は(昭和三十年代頃迄

宿番が作ったオシロコ餅を後をついて来る子供達の手に盛ってやると食べていました。この行事は以前使っていた太鼓の胴の中にある書付によると、寛政三年(一七九一年)お宮の脇オケヤが細工をしてハリチン壹分二朱とあり、この頃より前から行われていたと思われまふ。この太鼓は大



太鼓より少し小さめで、鉦を打った跡がない所から太鼓かと思われまふ。これを竹の棒で二人で担いで回ったと聞いています。
今、大和知でも戸数の減少で行事を続けるのも大変ですが、終わった後の真会を楽しみに続けていけたら良いかと思ひます。

Table with 17 columns (Team Name, Win/Loss/Draw, Points) and 17 rows (Teams 1-17). Title: 平成27年度 喬木村夜間ソフトボール連盟 第41回大会リーグ戦 星取表

※勝ち点 1勝=1 引き分け=0.5で加算 (同点の場合①勝数の大 ②負数の小 ③以上で同じなら同順位 ただし、1位の決定は直接対決による。引き分けの場合は決定戦を行う。) ※◎数字は昨年度順位

「落ち栗の 座を定むるや 溜まり」という句がありますが、放浪の末美篤の塩原家で庇護を受け、座を定め、墓も塩原家の墓地の隅にあります。
墓には「降るとまで人に見せて花曇り」という句が刻まれていたといいますが今は摩耗して読むことができません。
種田山頭火はそんな井月を慕い二度ほど井月の墓を訪れて「お墓したしくお酒そそく」墓までさすりつつ はるばるまいりました。といった句を残しています。
伊那と高遠との境の三峰川の河岸段丘の上に、戦時中訓練用の滑走路が作られたという六道の原という場所があり、井月の墓はその広々とした畑の中にぽつんとありますから、是非一度訪れてみてください。

喬木村子育てサークル「もういいかい」の親子二十九組が参加したハロウィンイベントが十月三十日に行われました。
子供たちはおばけや魔法使いに仮装してお菓子をもらい大喜びでした。
スタート前、集合場所の学遊館にぞくぞくと仮装した子供が集まってきました。いつもと雰囲気の違いをお友達を見て大はしゃぎです。
出発してまず「デイサーブ」へ。おじいちゃんおばあちゃんに元気いっぱいダンスを披露しました。それ

また参加者の感想としては「お菓子がもらえてペリー&ゴーにも会えて、子供が大喜びでした」など好評でした。
加えて喬木村へ引越してきた若いお父さんお母さんにとっては、子供のイベントを通じてデイサーブ

など施設の場所を知ったり、地域のお年寄りや施設職員と顔見知りになるよい機会ともなりました。
昨今、外国のお祭りばかりが目立ちますが、昔ながらの地域の伝統行事も大切に引き継いでいければと思います。
ともあれ、子供達にとつてはハロウィンの歴史や文化はさておき、「よくわかんないけど、お菓子をいっぱいもらえるラッキーな日！」日常と違うドキドキをお友達と一緒に楽しんでいこうと思います。



お菓子いっぱいもらったよ!

Happy Halloween 2015 喬木村 TRICK OR TREAT

「何処やらに鶴(たず)のこえきくかすみかな」という辞世の句を残した「井月」という俳人のことを「存じ」でしょうか。伊那市のあたりではかなり有名で「あちこちに句碑が建てられ、「ほかいびと」という題名で映画化もされています。
井月は越後長岡藩の武士の出であらうといわれていますが、三十代までの行状はほとんど分かっていません。しかし句を詠み、その書は達筆で学識の深さがうかがわれます。
芭蕉を愛し「旅人のわれも数なり花盛り」という句があり、旅人とは芭蕉のことであり、自分も芭蕉のようになりたいという思いが込められているのだといえます。

一八五八年頃、ふらりと伊那に現れ、その後三十年あまり、六十六歳で死ぬまで酒を愛し、句を詠み、貧しく転々と知人の家を渡り歩くような生活をしていて、地域の人は「乞食井月」と言っていたといいますが生涯の生き方を変えることはありませんでした。

私が井月の名前を知ったのは伊那の美篤に赴任してからで、学校の近くに小さな井月の墓がありました。
「落ち栗の 座を定むるや 溜まり」という句がありますが、放浪の末美篤の塩原家で庇護を受け、座を定め、墓も塩原家の墓地の隅にあります。
墓には「降るとまで人に見せて花曇り」という句が刻まれていたといいますが今は摩耗して読むことができません。
種田山頭火はそんな井月を慕い二度ほど井月の墓を訪れて「お墓したしくお酒そそく」墓までさすりつつ はるばるまいりました。といった句を残しています。
伊那と高遠との境の三峰川の河岸段丘の上に、戦時中訓練用の滑走路が作られたという六道の原という場所があり、井月の墓はその広々とした畑の中にぽつんとありますから、是非一度訪れてみてください。

あの時
「何処やらに鶴(たず)のこえきくかすみかな」という辞世の句を残した「井月」という俳人のことを「存じ」でしょうか。伊那市のあたりではかなり有名で「あちこちに句碑が建てられ、「ほかいびと」という題名で映画化もされています。
井月は越後長岡藩の武士の出であらうといわれていますが、三十代までの行状はほとんど分かっていません。しかし句を詠み、その書は達筆で学識の深さがうかがわれます。
芭蕉を愛し「旅人のわれも数なり花盛り」という句があり、旅人とは芭蕉のことであり、自分も芭蕉のようになりたいという思いが込められているのだといえます。

伊久間分館8度目の優勝

第20回村民ゴルフ大会開催



優勝の伊久間分館

分館対抗の第二十回村民ゴルフ大会が十月二十三日下條村の飯田カントリー倶楽部で開かれ、各分館より一〇一名が参加して行われました。

穏やかな秋晴れの下、それぞれの地域の皆さんが十八ホールストロークプレーのダブルペリア方式でラウンドし親睦を深めました。

競技終了後、表彰式と懇親会が福祉センターにおいて、村長、公民館長を来賓に迎え行われました。今回は二十回記念として、「酔鼓」の皆さんによる和太鼓の力強い演奏で懇親会に花を添えていただきました。

成績は、団体の部で伊久間分館が通算八度目の優勝を飾りました。個人の部の優勝はシニアの部(六十歳以上)が毛涯秀明さん(伊久間)、一般の部が西村博幸さん(北)、レディースの部が松葉美智子さん(伊久間)、ベストグロスはシニアの部(六十歳以上)が井澤東洋一

さん(馬場)、一般の部が西村博幸さん(北)、レディースの部が松葉美智子さん(伊久間)でした。

今回伊久間分館が主催という事で当日の参加者も二十五名と、大会を盛り上げていただきました。

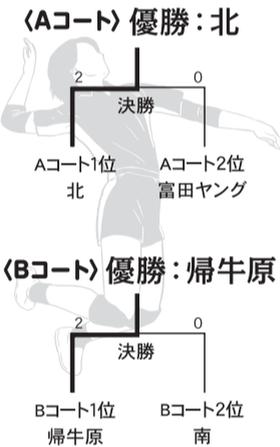
平成二十七年分館対抗女子バレーボール大会

十月二十五日(日)に分館対抗女子バレーボール大会が中央社会体育館を会場に開催され、九分館十チームによる熱戦が繰り広げられました。

一年を通じ練習を行って分館やチームが多く好プレーの連続でした。結果は次のとおりです。

女子バレーボール大会結果表

中央社会体育館



順位	分館名	NET
一位	伊久間	362・2
二位	北	364・6
三位	上平	372・6

たかぎ短歌会 神無月歌会詠草

驚きの安保法案成立す反対数多の民意をくまず

田中 妙子
大切な人を戦場に征かせまい老いも若きも平和願いて

知久 美子
安倍首相「ネエ聞いてんの」年老いた拉致被害者の家族の叫びを

市瀬 准子
一センチの丸刈りにして野球する孫は小さな決意を示す

小椋 りよ
若者よ目を覚まし給えこの国の政治は次の選挙で決まる

羽生 俊彦
物干しの白きシートに秋茜止まりて遠き山も色付く

岩間 幸子
稲刈りて味にこだわりハゼ掛けで時代の流れにあえて逆らう

桐原 邦夫

戦前に戻る政治の色濃くて明るき孫らの行く末思ふ
初物の茸の汁をお代わりす墓参りあとの孫等と夕食
白萩のこぼるる道に小鳥来てしばし啄ばみ山へ飛び行く
父母の家を思へば霧島のつつじの朱色まず浮かび来る
全校の歌の伴奏する孫をまず確かめて心して聴く
多数決は正しきことか安保法反対の声強くあがるに
庭先のマリーゴールド色さやかゆたかに開く秋になりたり
神之峰ゆ城山を過ぎ茶白山狼煙りレーに歓声挙ぐる

関島 春子
木下 寿子
大村 初見
元島 康子
内山 和子
木林 睦枝
原 健彦
福澤 亀人

- 総合優勝 とにかく速い宮下 記録58.53
- 一般男子の部
 - 1位 伊久間
 - 2位 伊藤製菓有限公司
 - 3位 北ランナーズ
 - 一般女子の部
 - 1位 スーさん!
 - 2位 ほいくえん
 - 中学男子の部
 - 1位 とにかく速い宮下
 - 2位 あの日見たとにかく明るいはやびを僕たちはまだ知らない skin head boys
 - 3位
 - 中学女子の部
 - 1位 バスケッくらし
 - 2位 ゆりれまめみほれす
 - 小学生の部
 - 1位 アレグリ5年
 - 2位 喬木少年野球クラブ6年生
 - 3位 喬木アレグリ6年



一般男子の部 優勝 伊久間



優勝の北分館と帰牛原分館



一般女子の部 優勝 スーさん!



中学男子の部 優勝 とにかく速い宮下



一般女子の部 優勝 スーさん!



小学生の部 優勝 アレグリ5年



中学女子の部 優勝 バスケッくらし

第二十七回 喬木村駅伝大会

十一月一日、小学生から一般まで幅広い年齢層で、全三十三チームが参加し喬木村駅伝大会が行われました。

今年も静岡県磐田市

は太陽も顔をだし、絶好の駅伝日和の中、総距離十五・七kmのコースを、全チームがゴールすることができました。

編集後記

気が付けば里まが秋の気配が下りてきている。家の前は山へと続く道なので、このところ村外、県外のマイクロボスや車がひっきりなしに通っていく。山奥生まれ、山奥育ちのためわざわざ紅葉を見に行く、という感覚は

気が付けば里まが秋の気配が下りてきている。

ないのだが、ふと気付いた時に山が色付いていたり花が咲いていたり、ああ自然は日々移り変わっているのだなと実感する。朝起きるのが辛くなる寒さも、この地域特有の霧も、冬がもうすぐ来ることを教えている。短い秋の風情を忙し中でも感じられる余裕を持ちたいものだ。